



1 授業のねらい（身につけて欲しい力） 教科書名「新しい科学」

- ・理科に関する基礎的な知識を獲得するとともに、科学的思考力を培う。
- ・理科（自然科学）の各分野に興味・関心を持ち、その中から問題を見出す力を培う。

2 授業の進め方

- ・教科書の内容を中心に授業を進める。講義型に偏らず、ICT 機器を用いた双方向の授業を展開する。
- ・テーマごとに課題プリントや補助プリントを用意し、思考力・判断力・表現力を養う。
- ・生徒実験や演示実験、視聴覚教材などを通して内容の理解を深める。
- ・発表の場を多く用意し、学び合いを大切にする。
- ・web 教材（スタディサプリ等）を利用し、反転学習を行う。

3 学習上の留意点

- ・授業では先生の説明を聞き、積極的に参加する。
- ・実験・観察の記録は正確に行う。
- ・配付されるプリントや章テストはファイルにとじ、いつでも見ることができるようにしておく。
- ・実験や観察では、先生の指示に従い、安全に配慮して積極的に取り組む。
- ・ノートの見直しをしたり、解けなかった問題に再度取り組む。

4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・スタディサプリ
- ・ノートや章テストの振り返り

5 単元テスト

- ・小単位ごとにテストを実施する。（年12回）
- ・各100点満点とする。
- ・知識を問うだけでなく、知識を活用した思考力・判断力・表現力を問う問題を含む。
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	実験・観察の記録 事物・現象の基本的な概念	実験・観察から考察 実験・観察の立案	授業に進んでかかわる 授業に見通しをもったり、振り返っている
方法	ノートの記述分析 授業の発言分析	ノートの記述分析 授業の発言分析	授業の行動観察 ポートフォリオの取り組み
この方法で学習状況をみとり、各単位ごとで示す「ループリック」に照らして評価します。			

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	単元1 化学変化とイオン 第1章 水溶液とイオン	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	・酸化や還元を、原子や分子で理解する。 ・原子構造やイオンについて学ぶ。 ・金属の種類によるイオン化の違いを学習し、電池の原理を理解し作成する。 ・体細胞分裂と生物の成長について理解する。 ・減数分裂を理解する。
	5	第2章 酸、アルカリとイオン		
	6	第3章 化学変化と電池		
	7	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖 第2章 遺伝の規則性と遺伝子		
2 学期	8	単元2 生命の連続性	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	・生物の進化とそれに伴う多様性とその意義を理解する。 ・速度、加速度について理解する。 ・物体に力が加わったときに、どのような決まりがあるかを理解する。 ・エネルギーの変換について知る。 ・星や太陽の1日の動きの基本について理解する。 ・月や金星の満ち欠けを理解する。
	9	第3章 生物の多様性と進化		
	10	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動		
	11	第2章 力のはたらき方 第3章 エネルギーと仕事		
	12	単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き 第2章 月と金星の見え方		
3 学期	1	単元4 地球と宇宙	授業ノート 行動観察 実験操作 章ごとのテスト ポートフォリオ	・太陽と惑星の特徴を理解する。 ・金星や火星の見え方から惑星の位置と見え方、時刻を理解する。 ・自然環境の保全や自然とヒトの関わりについて探究する。 ・科学技術が人間の生活を豊かで便利にしていることを認識する。
	2	第3章 宇宙の広がり		
	3	単元5 地球と私たちの未来のために 第1章 自然のなかの生物		
		第2章 自然環境の調査と保全		
		第3章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会のために		